

信州・山形村
清水高原
遊歩道MAP



- 道路・林道
- 遊歩道
- 散策ルート
※道路・林道のため車に注意
- 通行止



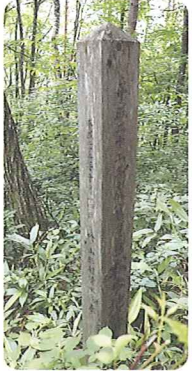
至下竹田(横吹沢経由)

●スカイランドきよみず

ウンモンテントウムシを初めて見たよ!



①花筏(はないかだ)



②砂防ダムにかかる小さな橋



③中村太八郎の石碑



④龍登の池



⑤あずまや



⑥ドングリコース入口



⑦野鳥観察コース・ドングリコース分岐点



至小坂

道狭し
落石多し

スカイランドきよみず 500m 清水寺 500m

沢にかかる
小さな橋があるよ

野鳥観察コース
至 清水寺 0.5km

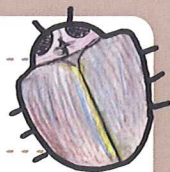
休み堂 400m 清水展望台 300m

Yamagata Furusato Ranger Corps

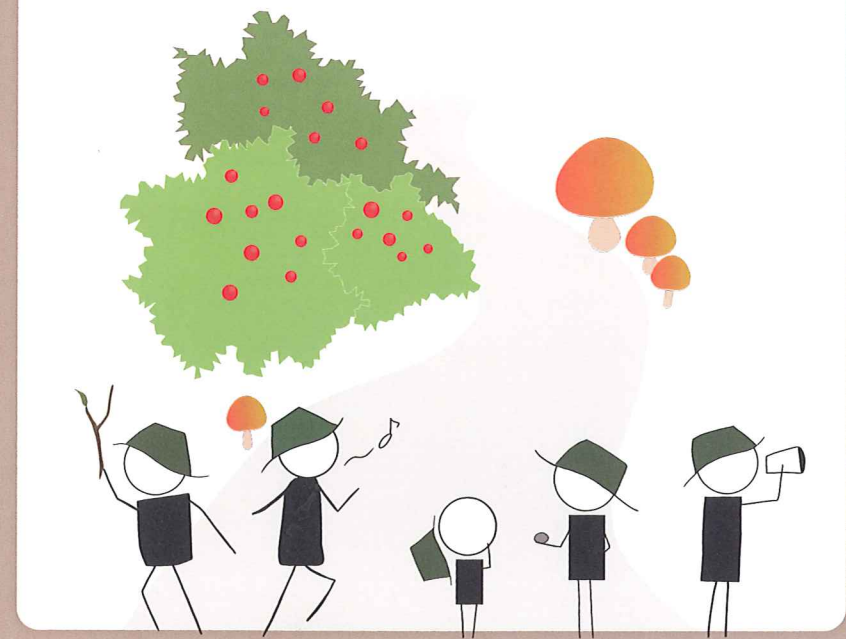
この地図は、令和5年6月から10月に散策した状況をまとめたものです。



清水高原の遊歩道



清水高原の遊歩道は、観光道路や林道、清水古道から山の中を散策できるようになっています。さまざまな植物や動物を間近で観察することができ、自然とふれあうことができます。清水高原は山形村唯一の高原で、最も標高の高いところで1,748mまで達します。本パンフレットでは令和5年6月から10月にかけて実施したYFRによる調査結果等から、現在の清水高原遊歩道についてご紹介します。



きよみずこうげん 清水高原

清水高原は、最も高いところで1,748mまで達します。山形村内をはじめ、松本平、安曇野の大パノラマを一望できます。

遊歩道や古道があり、四季折々の樹木や草花を観察することができます。また、野鳥も多く見られ高原を訪れる人々を楽しませてくれます。



アズマヒキガエル

●ヒキガエル科
日本の平地から山間部の森、雑木林、民家の庭などに生息し、乾燥に強く繁殖期以外はほとんど水に入らない。目の後ろにある耳腺(じせん)に毒を持つ。



キツリフネ

●花期: 6~8月
●高さ: 40~80cm
山地や丘陵地の湿地にみられる1年草。葉は楕円形で互生、粗い鋸歯がある。花は単黄色でつり下がり、花弁は3枚で下2枚は合着する。



キブシ

●花期: 3~4月
●高さ: 200~500cm
野山の雑木林で見られる落葉低木。葉は1~3cmの柄で互生する。花は3~10cmの穂で葉よりも早く開く。液果は8~10mmでかたい。



コケイラン

●花期: 5~7月
●高さ: 30~40cm
山地の湿り気の多い林の林床に見られる。葉は2個で長さ約20~30cm。花は1個の花茎に10~40個の黄褐色の花を総状につける。



セキヤノアキチョウジ

●花期: 9~10月
●高さ: 30~100cm
山地の木陰に生える多年草。「関屋の秋丁字」は「箱根産の秋丁字」の意味。関屋とは関所のこと本種が箱根に産するといわれる。



ノリウツギ

●花期: 7~9月
●高さ: 200~400cm
日当たりのよい山野で見られる落葉低木。葉は対生し、中性花ははじめ白く、果期には桃色または緑色をおびる。両性花は全体が乳白色。



じげんざんきよみずでら 慈眼山清水寺

天平元年(729年)の春、行基がまわってこれ、自ら千手千眼観音菩薩の尊像を彫って安置し創建したといわれています。

清水寺は、御本尊である千手千眼観音菩薩像や仁王尊像、鐘楼等村指定の文化財を数多く所有しており、仁王門から続く参道はとても神秘的です。現在は村民の心の拠り所として、山形村の顔として親しまれています。



仁王門



本堂

ハナイカダ

●花期: 5~6月
●高さ: 100~300cm
山林の下に多い落葉性広葉樹の低木。葉は2~4cm。葉の中央に小花をつける様子が筏に船頭が乗る様に見立て名がついたといわれる。



フクオウソウ

●花期: 8~9月
●高さ: 35~100cm
山地の木陰に生える多年草。全体に綿毛があり、きずつけると白い汁が出る。9月ごろ、茎先の円錐花序に多数の頭花をつける。



番外編 ~毒がある植物~

ツクバトリカブト

●花期: 8~10月
●高さ: 60~150cm
葉はやや厚く、両面に屈毛が生え、葉柄も屈毛が生える。花は散房状につき、花穂は上から開花。全草が猛毒で、特に塊根の毒性が強い。



バイケイソウ

●花期: 7~8月
●高さ: 60~150cm
本州中部以北から北海道のやや寒い湿地にはえる。葉は広い楕円形で葉の裏の葉脈に短毛がある。毒性が強くシカも食べない。



ハシリドコロ

●花期: 4~5月
●高さ: 30~60cm
山地の谷間、林縁の木陰などで見られる。葉は楕円形で、花は3~5cmで葉の陰で開花。全草で有毒であるが特に根茎は毒性が強い。



※一般的な特徴をまとめたものです。詳細は図鑑などを参照してください。

遊歩道を散策する方へ

清水高原にはいくつかの遊歩道がありますが、通行できないところや整備の行き届いていない場所もあります。遭難や野生動物との遭遇を避けるためにも単独での入山はせず、複数人で行動するようにしましょう。

また、生態系保全のため植物や石を持ち帰ることはやめましょう。同様の理由で、外来の植物や動物を山へ持ち込むこともやめましょう。かわいいからと、野生動物にエサを与えるのも禁止です。人からエサをもらった動物は、エサを自力でとれなくなったり、人へ近づきすぎることになります。ごみはすべて持ち帰り、遊歩道をきれいに保って気持ちの良い散策をしましょう。



遊歩道散策時の身支度

クマ対策について

近年クマの目撃情報や、被害が増えています。遊歩道を安全に利用するためにも、次のことに気をつけましょう。



- 1 人の存在を知らせ、突発的な遭遇をさけるために鈴やラジオなど音の鳴るものを携帯しましょう。
- 2 悪天候や夕暮れ時は人とクマがお互いの存在に気づきにくくなるため、より一層の注意が必要となります。
- 3 クマが冬眠時に利用しそうな場所には近づかない、穴を不用意にのぞかないなどの注意が必要です。
- 4 事前に都道府県や市町村が公開しているクマに関する注意・普及啓発のためのウェブサイトなどを確認し、その地域のクマの生息情報を確認しましょう。
- 5 登山やトレッキングなどでは、推奨ルートから外れないようにしましょう。
- 6 山菜やキノコ採り中などで座っている状態や立ち止まっている状態では、鈴は鳴らないので注意が必要です。また、溪流釣り中は沢の音で鈴やラジオの音がかき消されてしまうので注意が必要です。
- 7 新しいクマの痕跡(糞・足跡など)を発見した場合は、安全策を取り、引き返しましょう。
- 8 残飯などクマの誘引物となるものは必ず持ち帰りましょう。
- 9 単独での入山を避けましょう。